

安全データシート

1. 化学物質等および会社情報

製 品 名 : アルファループ
 製 品 コード : MC-100
 整 理 番 号 : SG043122
 会 社 : サンハヤト株式会社
 住 所 : 東京都豊島区南大塚3丁目40番1号
 担 当 部 門 : 本社 営業部
 電 話 番 号 : 03-3984-7791
 F A X : 03-3971-0535
 用 途 : 防錆潤滑剤
 作 成 日 : 1997 年 04 月 10 日
 改 訂 日 : 2015 年 12 月 25 日

REV. 2.00

2. 危険有害性の要約

G H S 分 類 : 可燃性／引火性エアゾール 区分 1
 標的臓器／全身毒性（単回暴露） 区分 3（麻酔作用）
 ※上記以外の項目は「分類対象外」、「区分外」、「分類できない」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注 意 喚 起 語 : 危険
 危 険 有 害 性 情 報 : 極めて可燃性・引火性の高いエアゾール
 眠気やめまいのおそれ
 注 意 書 き : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
 裸火または他の着火源に噴霧しないでください。
 使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないでください。
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火から遠ざけてください。一禁煙。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
 ミスト、スプレーを吸入しないでください。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物エアゾール製品

化学名	α リアルファオレフィン	液化石油ガス ＜噴射剤＞
含有量 (wt%)	60～70	30～40
官報公示整理番号	—	2-3 2-4
CAS No.	68037-01-4	74-98-6 106-97-8
EINECS	—	200-827-9 203-448-7
PRTR 法	非該当	非該当

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で最低 15 分以上洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗浄後、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染衣服は直ちに脱ぎ、多量の流水で触れた部分を十分に洗い流す。必要に応じ医師の手当を受ける。
- 吸引した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し安静に努め、速やかに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中をよく洗浄させる。無理に吐かせず、速やかに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

- 消 火 剤 : 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡等
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場所は、容器及び周辺に散水し冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :
作業の際は保護具を着用する。付近の着火源を取り除く。関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出液を下水や側溝等に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 :
少量漏出の場合は、灯油等の溶剤で拭き取る。大量漏出の場合は、かき集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い : 火気、衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。吸入を防ぎ、眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で風上から作業する。密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。
- 保 管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に施錠して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管 理 濃 度 : 未設定
- 許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 未設定
ACGIH TLV 未設定
- 設 備 対 策 : 室内での取扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。
- 保 護 具 : 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外 観 等 : 無色透明液体
臭 い : 無臭
p H : 情報なし
融 点 : 情報なし
沸 点 : 情報なし
引 火 点 : 224°C (ペンスキーマレンス密閉式)
爆 発 限 界 : 情報なし
蒸 気 圧 : 1mmHg 以下 (20°C)
蒸 気 密 度 : 情報なし
比 重 : 0.82 (15.6°C)
溶 解 度 : 水; 不溶
n-オクタノール／水分配係数 : 情報なし
自然発火温度 : 情報なし
分 解 温 度 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

安 定 性 : 通常状態では安定である。
反 応 性 : 強酸化剤と反応する。
避 け る べ き 条 件 : 高温、酸化剤
混 触 危 険 物 質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素等

11. 有害性情報

急 性 毒 性 : 情報なし (ポリアルファオレフィンの情報を記載)
情報なし (LPG の情報を記載)
皮 膚 刺 激 性 : 有意の刺激性はない。
刺 激 性 (眼) : 有意の刺激性はない。
感 作 性 : 情報なし
生殖細胞変異原性 : 情報なし
発 が ん 性 : 情報なし
生 殖 毒 性 : 情報なし
特定標的毒性／全身毒性 (単回暴露) : ヒトで麻酔作用の報告がある。 (LPG の情報を記載)
特定標的毒性／全身毒性 (反復暴露) : 情報なし
呼吸性呼吸器有害性 : 情報なし

12. 環境影響情報

生 態 毒 性 : 情報なし
残 留 性 ・ 分 解 性 : 情報なし
生 態 蓄 積 性 : 情報なし
土 壌 中 の 移 動 性 : 情報なし
オゾン層への有害性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

容器内の原液成分をすべて使いきり、火気のない屋外でガスを完全に抜いてから廃棄する。内容物や容器を指定廃棄物処理業者に産業廃棄物として委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類 : クラス 2. 1
国連番号 : 1950
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。
海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消 防 法	:	危険物第 4 類第 4 石油類	
P R T R 法	:	非該当	
労 働 安 全 衛 生 法	:	令別表第 1	危険物（可燃性のガス）
有機溶剤中毒予防規則	:	非該当	
船 舶 安 全 法	:	＜原液成分＞	非該当
		＜噴射剤＞	危規則第 3 条危険物 高圧ガス
航 空 法	:	＜原液成分＞	非該当
		＜噴射剤＞	施行規則第 1 9 4 条危険物 高圧ガス
港 則 法	:	＜原液成分＞	非該当
		＜噴射剤＞	施行規則第 1 2 条危険物 高圧ガス
輸 出 貿 易 管 理 令	:	非該当	
水 質 汚 濁 防 止 法	:	油分排出規制	
海 洋 汚 染 防 止 法	:	油分排出規制	
下 水 道 防 止 法	:	鉱油排出規制	

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は、通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

改訂履歴

改訂日	理由	備考
2012.04.10	GHS 対応による見直し等	
2015.12.25	JIS Z7253 に準じた改訂	